

## 市民生活の安心確保へ国に要望

皆さま、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

新年度が始まり、5月は国や県に対する要望活動や意見交換が本格化する時期でもあります。さいたま市を代表し「指定都市市長会議」「九都県市首脳会議」「埼玉県と県内市による市長会議」などに出席。都市が抱えるさまざまな課題について、国や県、関係自治体と議論を重ねてまいりました。

指定都市市長会議では、副首都整備や特別市制度など大都市制度に関する議論のほか、物価高騰対策、障害福祉、保育DXなど市民生活に直結する幅広いテーマについて意見交換。また、九都県市首脳会議では、本市が提案した「火葬場の適切な整備・運営に向けた制度的対応」について国への要望活動を行いました。埼玉県と県内市による「市長会議」では、不登校児童生徒への支援について本市の取組を共有しました。



【プロフィール】  
昭和37年3月25日生まれ  
平成21年5月～さいたま市長  
現在5期目。ほかに指定都市市長  
会副会長、さいたま市社会福祉協  
議会会長、日本サッカーを応援す  
る自治体連盟会長など  
趣味はマラソン、手話ダンス、茶道  
ラーメン、スイーツが大好き  
座右の銘は「素志貫徹」



“多死社会”への備え  
都市部で火葬需要が増加

仁木博文 厚生労働副大臣

### 社会インフラとして火葬場の機能強化を

日本は本格的な「多死社会」を迎えており、特に都市部では火葬需要の増加への対応が大きな課題です。

また、大規模災害時においても、火葬機能を維持し、広域的に対応できる体制づくりが求められています。

一方で、火葬場は施設の老朽化が全国的に進み、その整備や改修には多額の費用を要します。さらに、民間火葬場を含めた運営のあり方や、災害時における国・自治体の役割分担など、制度面で整理すべき課題も少なくありません。

火葬場は市民生活を支える重要な社会基盤の一つです。将来を見据え、平時にも災害時にも安心できる体制を国と自治体が連携して整えていく必要があります。

### 毎週土曜日はラジオでも情報発信中！

FM NACK5で毎週土曜日に放送している「清水はやと PROGRESS SATURDAY」。さいたま市のまちの話題や市政の取組を、ラジオならではのリラックスした雰囲気の中でお届けしています。おもしろい裏話も飛び出すかも！？

ニュースレターとはまた少し違った“声で伝える市政”を、ぜひ気軽にお聴きください。毎週土曜 午前7時10分から放送中です！

